



# イラク派遣部隊活動報告

16. 2. 8

陸自派遣隊

## 報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の状況等
- 4 本日(9日)の活動予定  
明

**全 局**

- ◎ サマーワ主力
  - ・ 先発隊第1陣受入  
先発隊第1陣は、0500キャンプ・バージニア発、0725サフワン、1218シダーに、サマーワのキャンプ・スミッティへは1703それぞれ無事到着。  
先遣隊はキャンプ・スミッティにおいて先発隊の受入を実施した。人員・武器・装具等異状なし。
  - ・ 陸自宿営地勤務業者監督・指導  
陸自宿営地の勤務作業の進捗状況把握するとともに、監督・指導を実施。
- ◎ クウェート分遣班
  - ・ 先発隊のイラクへの移動支援
  - ・ 本日の先発隊第2陣の移動・展開の事前調整
- ◎ バクダッドLO
  - ・ 治安情勢の収集
- ◎ バスラLO
  - ・ バスラLOの受入及び先発隊第1陣の受入れ支援

**現地の状況等**

報告項目	報告内容
派遣先国・派遣先地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自爆テロ関連情報 2月6日1710頃、自爆テロ(VBIED)を計画している車両(白色の日産ピックアップトラック)に類似した車両がCPA施設前の検問所付近で確認され、ルマイサ市に北上したとの情報あり。本情報に基づきキャンプ・スミッティの蘭軍が出動したが発見できず。</li> <li>○ サマーワ ・2月5日1200、サルマン(サマワ南西100km)駐留の海兵に対してICDC(イラク民間防衛隊)を増強配置 ・2月6日0858、給水塔の東側で銃声、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>が調査した結果、イラク人1名が死亡しているのを発見。初砲による流れ弾によるものと思われるが捜査中 ・2月7日1250頃、CPA施設前において約60名によるデモが実施されたが1326、特に混乱なく終了。デモの理由は給料未払いに抗議したものの、この際、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>が出動したが監視のみの対応で終了。 ・ドラッグの密売人が活動中</li> <li>○ ルマイサ 2月7日ルマイサ市において蘭軍により実施されていたICDC2コ小隊の教育が終了し、蘭軍との共同巡査を開始</li> <li>○ ヒドル(Khidr)(本日より左記の読み方に修正します) 2月6日に手交された評議会に対する非難の署名は5000名分</li> <li>○ ムサンナ県全般の評価                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大の脅威は失業問題</li> <li>・ 蘭軍及び自衛隊に対する攻撃の明確な兆候なし。</li> <li>・ テロリスト等の細胞は見られない。</li> </ul> </li> </ul>

### 現地の気象情報

#### 報告内容

日の出 : 0614  
 日の入り: 1757  
 天 候 : 晴れ  
 気 温 : 最高23℃ 最低9℃

### 人員現況

区 分	所属人員	事故人員	現在員	事故の内訳・備考
第1次支援群	隊本部・本管中隊	9	9	副隊長
	施設隊	14	14	
	衛生隊	4	4	衛生×1
	警備中隊	32	32	警備×10、クウェート
	警務隊	2	2	
計	61		61	先発隊等:サマーワへ移動
業務支援隊	隊本部	25	25	先発隊:サマーワへ移動
	クウェート分遣班	19	19	
	連絡班	7	7	
	計	51		51
陸幕展開支援班	調整組	9	9	先発隊:サマーワへ移動、クウェート
	移動支援組	7	7	
	計	16		16
合計	128		128	アラビア語通訳2名は含まず、先発隊:サマーワへ

### 装備の現況

区 分		装備品の状況
支援群	群本部	武器・銃具等異状なし
	本部管理中隊	
	衛生隊	
	施設隊	
	給水隊	
	警備中隊	
業務支援隊	隊本部	
	クウェート分遣班	
	連絡班	
警務派遣隊		
陸幕展開支援班		

### 本日の活動予定

サマーワ本隊			
役務監督組	復興支援活動調整組	隊長	主力
0800:起床 0730:朝礼、通達訓練			
0740:宿営地発 CPA経由、陸自宿営地着 役務監督・指導 1700:業務終了陸自宿営地発 CPA経由 1730:宿営地着	0830:宿営地発 CPA調整 1000:保健局ミーティング 1230:宿営地着	0830:宿営地発 0900:宿営地指導 1100:MND兵站 幕僚 1300:MND(SE) 師団長同行 2030:宿営地着	0800:集合、概要説明 0900:荷物搬入 車両・武器等整備 1000:コンテナ搬入MM 1300:各隊支援徹底 1400:BF予行 1530:コンテナ卸下 荷物確認・掌握
(共通) 1900~1930:日々ミーティング・終礼 1930~2000:オランダ軍との調整 2000:外務省との調整			
人員:8名 車両:2両 高機動車×1、LAV×1	人員:7名 車両:2両 LAV×1(衛生×3)	隊長のみ 陸軍支援車両	

**本日の活動予定**

サマーワ本隊		
広報支援組	先発出迎え組	先発隊第2陣
0600:起床 0730:朝礼、通信訓練		0330:起床
1500:出発準備 1530:宿営地正門発(1便) サマーワ・ギャラリー 1700:宿営地正門発(2便) 1800:宿営地着	0930:宿営地発 1200:シダー着 1230:先発隊第2陣と合流 1530:キャンプ・スミティ到着 コンテナ卸下 宿営準備	0500:キャンプ・バージニア発 0730:サフワン 1230:シダー着 1530:キャンプ・スミティ着 自隊車両駐車位置へ移動 コンテナ卸下 宿営準備 宿営地の概要説明
(共通) 1900~1930:日々ミーティング・終礼 1930~2000:オランダ軍との調整 2000:外務省との調整		
人員:16名 車両:4両 LAV×4、大型×2(1500~)	人員:10名 車両:3両 LAV×1、WAPC×1	人員:先遣3名+先発11名 車両:27両 LAV×3、WAPC×1

**本日の活動予定**

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先発隊移動支援</li> <li>・海自先遣隊との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナ内装監督・指導</li> <li>・日本大使館職員対応</li> <li>・██████での情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸自先発隊の通境支援 (田中氏)</li> </ul>

先遣隊長の行動

○本日(8日)

- 0830~1100:CPA-CIMIC調整
- 1100~1200:宿営地工事関係者との調整
- 1300~1400:取材対応
- 1650~1730:先遣隊第1梯隊の出迎え
- 2000~2100:派遣隊ミーティング
- 2100~2200:外務省とのミーティング

○明日(9日)

- 0900~1000:宿営地指導・監督
- 1100~1200:MND(SE)兵站幕僚との調整
- 1300~2000:MND(SE)師団長対応

日報要約内容(08:00~17:00)

2月8日

区分	内容
実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナショナルLO                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテナハウスの設置業務 本日、業者とコンタクトできたが、業者がIDを忘れたため基地内に入れず、明日に持ち越しとなった。</li> <li>・ [ ] を通じて治安情勢及び作戦状況の情報収集 [ ] を収集(添付資料)</li> <li>・ CPAグリーンゾーン周辺のバグダッド市内の衛星写真を入手(添付資料)</li> <li>・ [ ] のEメールにLO全員が加入</li> <li>・ 本日、大使館職員2名は、大使館において業務実施、キャンプビクトリーに帰来し宿泊予定(日本のコンテナハウス)</li> </ul> </li> <li>● スタッフLO                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナイトシフトとしてC-2勤務([ ])</li> <li>・ C-9勤務([ ])</li> </ul> </li> </ul>
問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [ ] が不通(原因不明、本体交換予定)</li> <li>・ コンテナハウスへの電気配線を依頼したが、未だ実施されず。</li> </ul>
今後調整すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテナハウスへの電気配線の実施</li> </ul>
その他	特になし

クウェート所在部隊業務報告 (陸幕展開支援班・クウェート分遣班)

全 般

<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸幕展開支援班・クウェート分遣班とも異状なし</li> <li>○人員報告：所属人員27名、事故人員0名、現在員27名、異状なし</li> <li>○支援班移動移動支援、海自対応等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天候：晴れ</li> <li>○気温20～8度、湿度80～34%</li> </ul>
--	---

本日の活動状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援班移動支援 薄業交付0330 CV出発0500 ナビスター着0730 支援班国境通過0820 CV帰隊1030</li> <li>○海自対応：海自の輸送のための事前偵察に際し、5名をもって対応 (中輸業要員の事前偵察含む) シュアイバ港・シュウイク港を研修し、各種手統ぎ等の事前準備、シュアイバ港内使用予定施設及び地味及びおおすみ搭 載車両の卸下要領等について確認</li> <li>○移動準備：コンテナのトレーラへの積載 トレーラ (施設器材) ×6両、トレーラ (コンテナ) ×14両の積載完了</li> </ul>
--

明日の予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援班 (コンテナ輸送) 移動支援 トレーラ20両を主力とした支援班の移動のため、ナビスターまでの防護等の移動支援</li> <li>○展開支援班移動支援要員の帰国 以下4名帰国</li> <li>○海自対応：海自の輸送のための事前偵察に際し、2名をもって対応 アリアルサレム空軍基地及びキャンプバージニアを研修</li> <li>○レンタル車両2両の返納</li> </ul>
---

その他 (教訓・要望事項等)

海自対応としてシュアイバ港、シュウイク港を研修したが、おおすみは両港とも接岸可能との認識。分遣班としては、港からCVまでの輸送の容易性 (①距離：シュアイバ港～約110km、シュウイク港～約60km、②燃料補給、③安全性)、港周辺地域の治安状況 (シュアイバ港において12月に米軍が銃撃を受け官民あわせて11名負傷) を考慮すると、シュウイク港を使用する方が有利であると思料。海幕と調整して頂きたい。